

## ボランティアの心

### 入所者に寄り添い10年

カレッジ卒業後グループわ事務局に入り皆さんから提出された活動報告を見て、多くの方が色々なボランティア活動をされている事を知りました。暫くして、「滝谷グループホーム」で夜間の見守りに誘われたのが、私のボランティアの始まりです。

ここは小規模の知的障害者の自立支援施設で開所したばかりでした。私たちは夜8時までに出向き、管理者と交替し入所者の夜間見守りをします。当初は対応に戸惑いがありましたが、そのうち個性に応じた対応が出来るようになりました。

ホームのドアを開けると、「こんばんは」と部屋から出てきて挨拶する人、今まで居間でテレビを見ていたのに「こんばんは」と挨拶し、暫くすると自室に戻る人。私たちと一緒にテレビの前で、懐メロを聞いたり、プロ野球の応援をしたりする

人と様々です。時には自分の今の状況を長い時間かけて話をする人もいます。その時、私は聞き手に徹するようにしています。

朝もそれぞれの出勤時間に合わせ起床して来ますので、私が起こしに行くことは滅多にありませんが、あまり遅いので部屋をのぞくとテレビを見ているので、朝食を食べるように急がすこともあります。出勤時間が来ると、「行ってきます」と挨拶をして出て行きますので、玄関で確認し送り出します。全員の出勤後に戸締りをして帰宅します。

彼らとは、時に就労先のしあわせの村で出会ったり、町で出会ったりすることもあり、その際は彼らから声をかけてきます。

この施設でも75歳の定年制が採り入れられ、この春、私を含め4人が退任しました。

身体的にも引き際だったと思います。入所者に寄り添い、共に過ごした10年は、私の財産。いい経験をさせてもらったと喜んでいきます。

(堀内昭 食6期・北区会)

### 国際部会 車いすテニスを支援

第21回国際車いすテニス大会（神戸オープン）が4月26日～29日の4日間、三木市のプルボンビーンズドームで行われ、国際部会と北区会から11人がボランティアとして参加。関空や神戸空港での送り迎えからバスの添乗、飲み物や弁当の配布、廃棄物回収など、早朝から夕方まで奮闘しました。

今年は外国人選手が韓国から9人、アメリカ、タイから各1人、日本人選手64人の計75人が出場して



熱戦を繰り広げ、男子は世界ランキング1位の国枝慎吾選手が、女子は上地結衣選手が優勝しま

した。表彰式の様子（柳川瀬淳一撮影）

選手たちは、車いすを操りながら健常者顔負けのラリーを展開、観客席を沸かせました。空港からの送迎バスの中でも、とても障害者とは思われない朗らかな笑い声が止まず、お世話する私たちも元気を貰いました。この大会は毎年お手伝いしていますが、選手たちが来年もぜひ参加してくれるように願っています。（柳川瀬 淳一・国13 須磨区会）

### 未来館「ピオトープ観察会」開催

水辺のオモシロ植物を発見しようー。6月21日午前、環境未来館で「自然体験教室」が開催され、親子連れ6組・21名が参加しました。講師は、兵庫・水辺ネットワークの高島正氏。佐藤泰仙（生15期）さんら、6人のスタッフがサポート役を務めました。

高島講師から、水辺の動植物について説明を受けた後、玄関横にあるピオトープに集合。



植物や生き物を見たり触ったりしながら、「動植物の生体系」や「ピオトープとは何か」「外来植物」などを熱心に学習。その後、教室に戻った子どもたちは、「植物についていろいろと知ることができた」、「ヨモギは草餅の材料だけでなく、血を止めるのに驚いた」などの感想を発表。短時間なのに、良く先生の話を受取りしていることに感心しました。=写真はピオトープ前で学習する子どもたち

ピオトープ観察会予定：8/9・9/6・10/11・11/15（詳細は未来館995-3196まで）（取材・広報委員 知地正紘）